

**広島型持続可能なまちづくりに向けた施策検討等業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和8年7月23日（木）
2	場 所	書面審査
3	出席委員	土木建築局都市計画課長 土木建築局都市環境整備課長 土木建築局住宅課長 地域施策局中山間地域振興課長 地域政策局公共交通政策課長
4	議 題	提案書の審査、最優秀提案者の決定について
5	担当部署	土木建築局都市計画課
6	開催方法	持ち回り（書面審査）
7	議事内容	1 審査方法 提出された提案書について書面審査を行い、選定委員会において審査の上、得点の最も上位となった提案者を最優秀提案者として選定した。 2 審査結果 （1）審査対象者（提案書提出順）及び評価値 別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり （2）最優秀提案者 株式会社日建設計総合研究所 （3）提案者ごとの主な評価 【提案者A】 ・集約型都市構造の検討に係る豊富な業務実績等を通じて、業務全体を通じて具体的な分析手法や検討内容を提案出来ている。 ・データに基づく定量的分析や拠点カルテ作成等の提案が優れている。また、全23市町へのアンケートと代表6市町へのヒアリングを組み合わせた意見交換手法は網羅性・実効性が高く評価できる。 ・これまでの経験や実績を踏まえ、成果がイメージされた、具体的な提案で

	ある。 ・本業務の趣旨をよく理解しており、本県の実情を踏まえた提案であり、実効性も期待できる。また必要十分な業務実績も有しており、その点も評価できる。 ・都市機能の体系化などに向けて、ステップを細かく設定し、具体的な提案がなされていることから、実現性が高く非常に期待が持てる。 【提案者B】 ・ウォークアブルの定義づけを含め、業務全体の進め方を丁寧に検討されるとともに、具体的な手順を提案している。 ・業務目的の理解が深く、市町目線に立った取組ステップや先進事例の提示など実践的な提案で優れる。一方、市町意見交換が限定的な提案となっており、実情把握の観点で成果の精度として課題が生じる可能性がある。 ・多くの項目で、アンケートを実施することとしており、その結果からどのように成果につなげるか、試行錯誤が必要な提案である。 ・本業務の趣旨を理解しており、必要十分な業務実績も有しており、評価できる。 ・都市機能の体系化などに向けて、ステップごとに提案がなされ、期待が持てる。
--	---